

## 【今シーズン初】低病原性鳥インフルエンザウイルス検出

12月10日現在、愛媛県、栃木県、奈良県で採取された野鳥の糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されており、国内では今季初めて本病ウイルスが確認されているところ。また、韓国においては、野鳥の糞便から本病ウイルスが検出されていることを踏まえると、本県への本病ウイルスの侵入リスクは高い状態です。家きん飼養者並びに畜産関係者におかれましては、農場及び家きん舎への本病ウイルスの侵入防止対策及び飼養家きんの異常の早期発見・通報の徹底をお願いします。また、畜産関係者以外の方々におかれましても、農場へは無断に立入らない、動物が飼養されている施設に入る場合は、入場前の手指消毒と靴底消毒の徹底について、御理解と御協力をお願いします。



### 鳥類の相談窓口



種類	地域窓口	県庁窓口
家きん	・家保 ・振興局(農業普及・振興課)	・畜産課
愛玩鳥 (家きん以外)	・保健所	・健康危機管理課
野鳥	・振興局(林務課/森林保全課) ・各市町村	・自然保護課



## 抗菌剤の慎重使用について

1 薬剤耐性菌とは? : 抗菌剤が効かない細菌です。人や動物の治療が困難になります。

### 2 抗菌剤慎重使用と畜産の関わり!

抗菌剤は畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されており、医師の指導のもと、用法・用量を守って適正に使用しなければ、畜産物を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されます。

### 3 薬剤耐性対策の4つのポイント!

1 感染症を予防する



飼養衛生管理水準の向上(施設内の洗浄・消毒の徹底、十分な飼養スペースの確保、適切な栄養管理等)により、感染症を予防しましょう。

2 家畜の状態を把握する



家畜の異変に素早く気付けるように、毎日、飼育する家畜の健康観察を行い、家畜の状態を的確に把握しましょう。

3 獣医師に伝える



獣医師が的確に状況を把握し、適切に診断できるよう、発病後の経過、措置の状況、過去の感染症の発生状況等の情報を獣医師に伝えましょう。

4 抗菌剤を正しく使用する



抗菌剤は獣医師からの指示に基づき、用法・用量、使用禁止期間等を守って正しく使用しましょう。

## 家畜保健衛生業績発表会が開催されました！

令和元年（2019年）11月29日、熊本県農業研究センターで開催されました。当所からは、高木主任技師、矢野主任技師、吉田主任技師の3名が発表を行いました。また、農研機構 動物衛生研究部門 越境性感染症研究領域 アフリカ豚コレラユニットの舩甚賢太郎先生に「CSF※とASF※」と題して日本で発生しているCSFや近隣諸国で猛威を振るっているASFについての特別講演を行っていただきました。感染実験例を踏まえた内容ではありませんでしたが、フロアからは多くの質問があり、CSFやASFへの関心の高さが伺えました。ASFはワクチンや治療法がないため、養豚場のバイオセキュリティ対策が重要となります。会場に隣接した広場では、養豚農場へのCSF及びASFの侵入防止に係る野生動物侵入防止用の柵の展示があり、業者の方から実際に柵の仕様の説明や設置の仕方、さらに、強度に関するデモンストレーションなどを行っていただきました。



※「豚コレラ」は、人の細菌性感染症である「コレラ」と混同され、生産者及び消費者等に不要な不安や不信を招く恐れがあることから、「classical swine fever：CSF」と、「アフリカ豚コレラ」についても、同様の理由により、「African swine fever：ASF」と表記しています。

## 消毒について

畜舎消毒については、平成30年1月に城南家保ニュースVol.30-10で発行した、「消毒特集」を活用いただいていると思いますが、別紙のとおりリーフレットを作成しましたので、併せてご活用いただきますようお願いいたします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月日
口蹄疫	O型	ミャンマー（13件）	牛	令和元年（2019年）10月1日～10月30日
H P A I	H5N5/H5	台湾	家きん	令和元年（2019年）9月9日～10月27日
A S F		中国（3件）	豚	令和元年（2019年）11月1日～11月30日

令和元年（2019年）12月1日時点

### 編集後記（K.Y）

最近、実家の寿司屋に海外のお客様がよく来店されます。アジア・アメリカ・カナダ・ヨーロッパなど。ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権効果でしょうか。でも、会話がなかなか難しい。そこで、ポケトークという翻訳機を買って使っていますが、大活躍！！英会話教室に行かなくても会話ができるいい時代になりました。